

経営比較分析表（令和2年度決算）

岐阜県岐阜市 岐阜市民病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	500床以上	自治体職員
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	29	対象	ド透I未訓ガ	救臨が災地輪
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
407,387	56,541	非該当	非該当	7：1

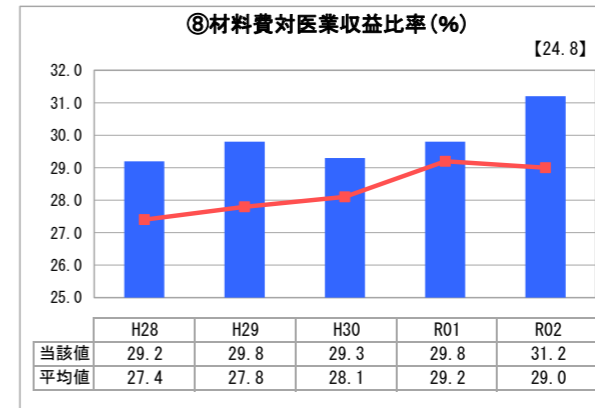
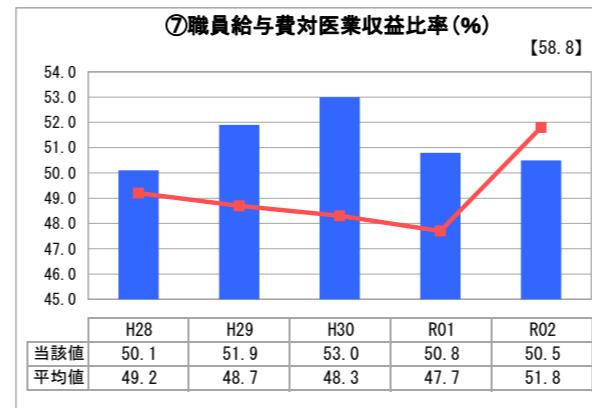
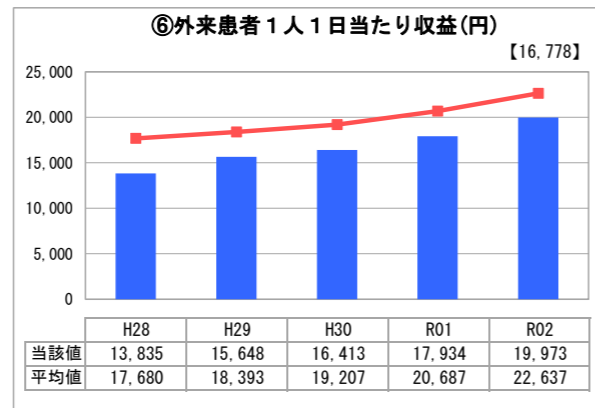
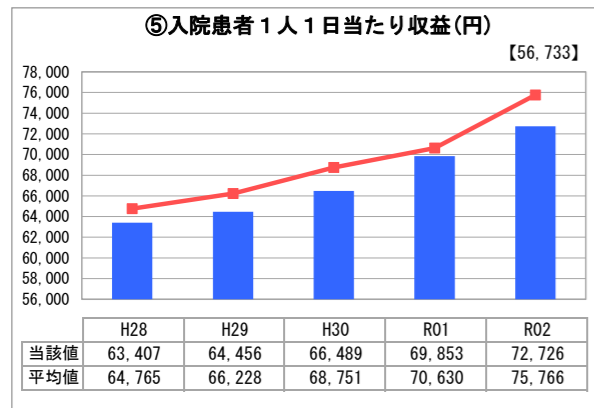
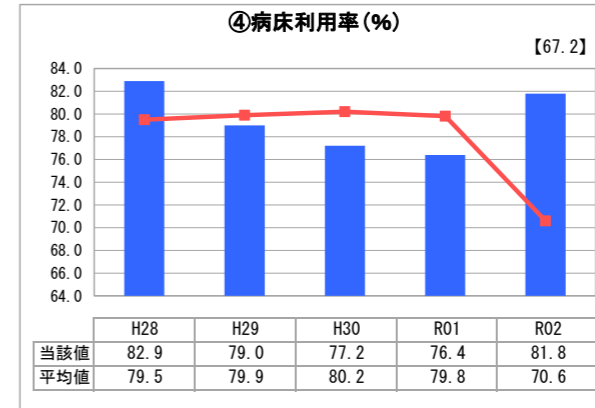
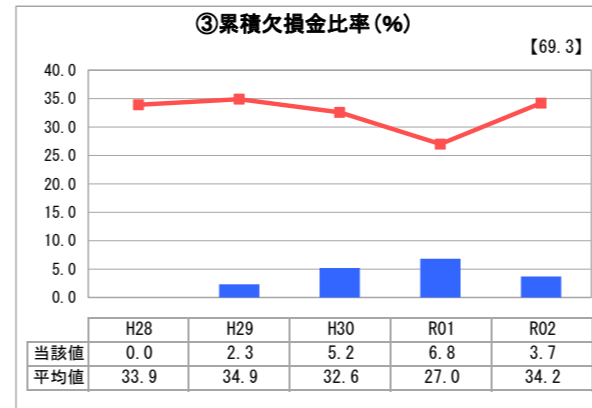
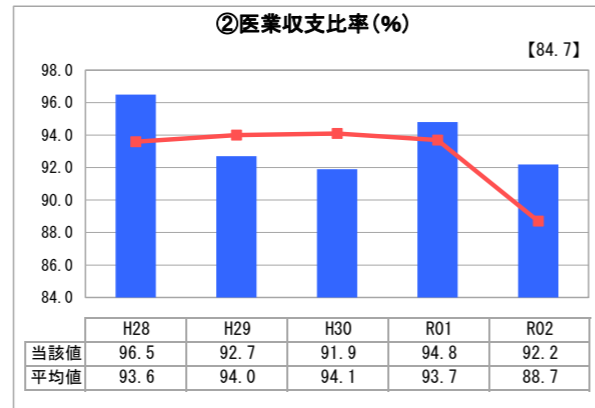
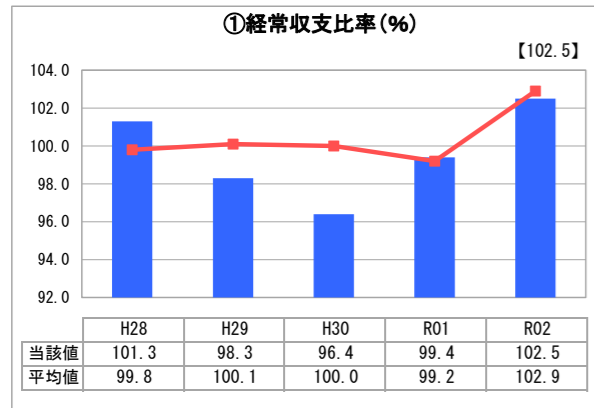
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

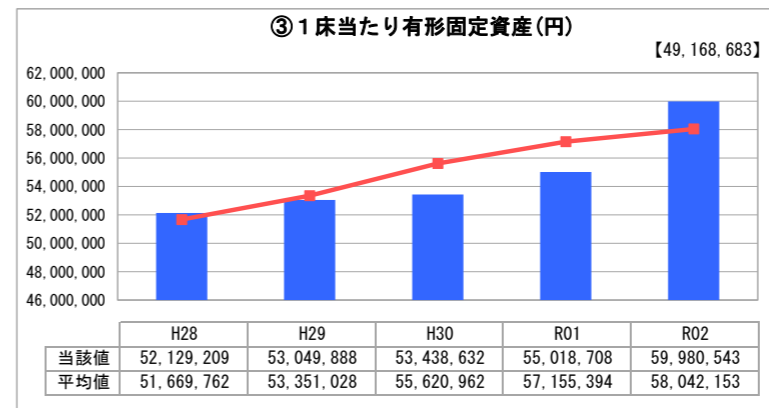
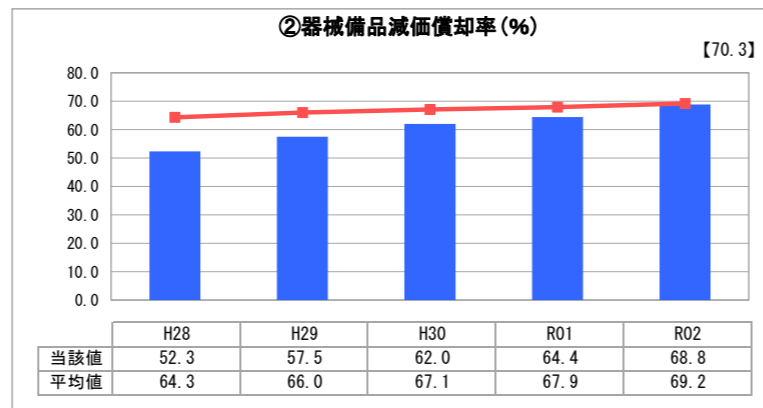
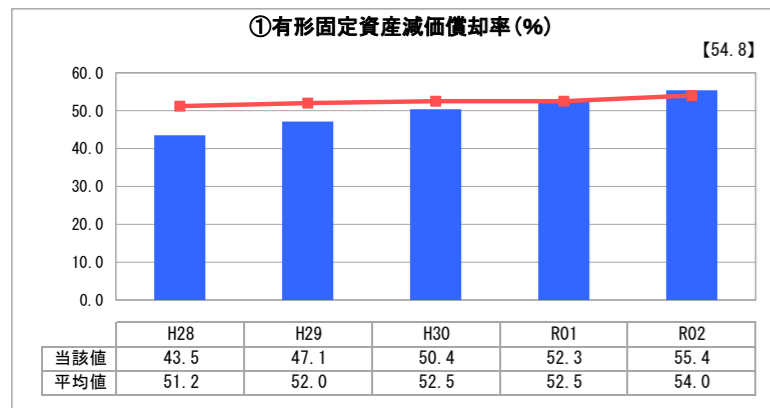
許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
515	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
50	-	565
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般+療養）
506	-	506

グラフ凡例	
■	当該病院値（当該値）
—	類似病院平均値（平均値）
【】	令和2年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

再編・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	-	-
年度	年度	年度

I 地域において担っている役割

当病院は岐阜県地域医療構想において、岐阜大学医学部附属病院や岐阜県総合医療センターなどと連携しながら、地域の急性期医療を担う病院のひとつとして位置づけられている。具体的には、救急医療、がん医療を軸とする高度専門医療、さらには精神医療、小児医療、周産期医療といった政策医療を行うとともに、これらの医療を中心に、地域の医療機関と連携する地域医療支援病院として、地域完結型医療の提供を行っている。また災害時には、災害拠点病院として地域の中核的役割を担う。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

・医業収支比率（②）が例年より減少したものの、経常収支比率（①）は100%以上となった。これは、新型コロナウイルス感染症関係補助金などの収益増加によるものである。この結果、累積欠損金および累積欠損金比率が減少した（③）。
 ・病床利用率（④）については、類似病院が下落するなか上昇している。引き続き、継続できるように努めていく。
 ・入院患者及び外来患者の1人1日当たり収益（⑤・⑥）は、上昇傾向にあるものの、類似病院平均を下回っている。前者の理由は精神科病床を有しているためと考えられる。また後者の理由は、岐阜市休日急病センター等を有していること、総合病院であることで入院患者の他科受診が多い影響があると考えられる。このなかでも、職員給与費対医業収益比率（⑦）及び、材料費対医業収益比率（⑧）が上昇するよう、引き続き収益性確保に努める。

2. 老朽化の状況について

・固定資産減価償却率（①、②）は、ともに増加傾向にある。また、1床あたり有形固定資産（③）は、類似病院平均より上回っている。減価償却費として収益的支出の増大にもつながることから、施設・医療機器の更新にあたっては、医療需要、財政状況等を考慮しながら、今後も計画的に実施していく。

全体総括

「救急医療、がん医療を軸とする高度・専門医療の提供」「政策医療（救急医療、小児医療、精神科医療、災害医療など）の提供」「地域医療機関との連携による切れ目のない地域完結型医療の提供」「高度急性期病院の強みを生かした人材育成の実施」「災害医療の充実」を将来像に、心にひびく医療のさらなる実践を進める。経営面では、退職給付引当金を除いた経常収支比率100%以上を目標とし、持続可能な経営を実現していく。

※「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。